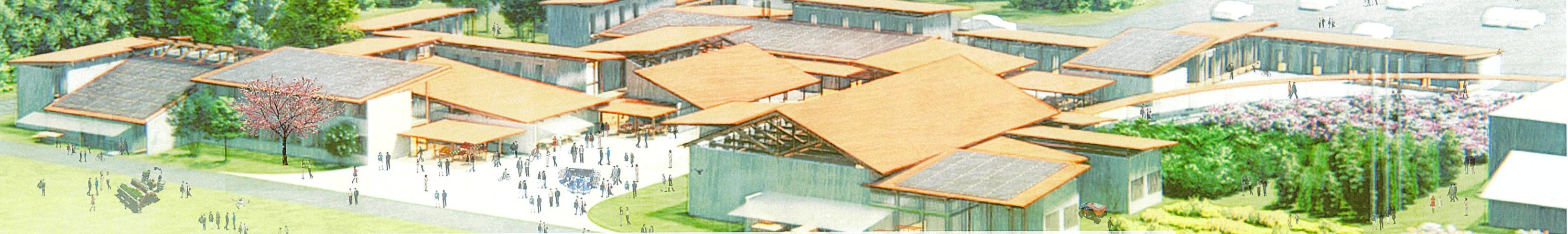


農業の今と未来をつなぐ校舎

— おおらかな風景とあたらしい文化をつなぐ小さな小屋 —

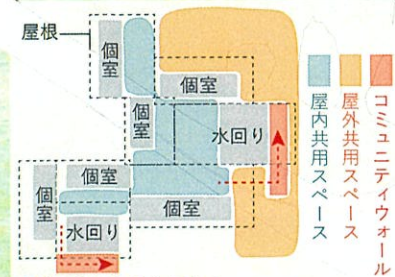


- ◇先端技術の学習にふさわしい活発なコミュニケーションがあちこちに生まれる、たくさんの居場所を持つ校舎・学生寮を目指します。
- ◇キャンパスの素朴な風景に溶け込むように、小さな小屋が集まった懐かしさと新しさが同居するこれからの農業のシンボルとなる外観をつくります。
- ◇八溝山系で採れる小断面木材を前提とした大工工事可能な構法計画により、エネルギーマイレージを最小化する地域内マテリアルフローを計画します。

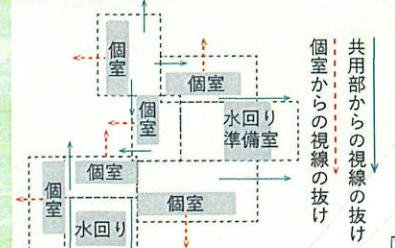
■学生等の自らの学びと農業者、指導者等と多様な交流を促す施設

経営や先端技術学習に必要な打合せ、PCデスクワーク環境をつくるため、ロビーは男女学生・研修生が集えるオープン講義室を、教育・研修棟や寮にも授業外の意見交換や交流、ワークショップや発表を行える小さいラウンジをちりばめ、外部に設けたコミュニティウォール前のスペースは学生が集う屋外イベントスペースや日常の交流の場所としても活用できる計画とします。

ユニットごとにかけた屋根の軒下が、人のたまり場となる。



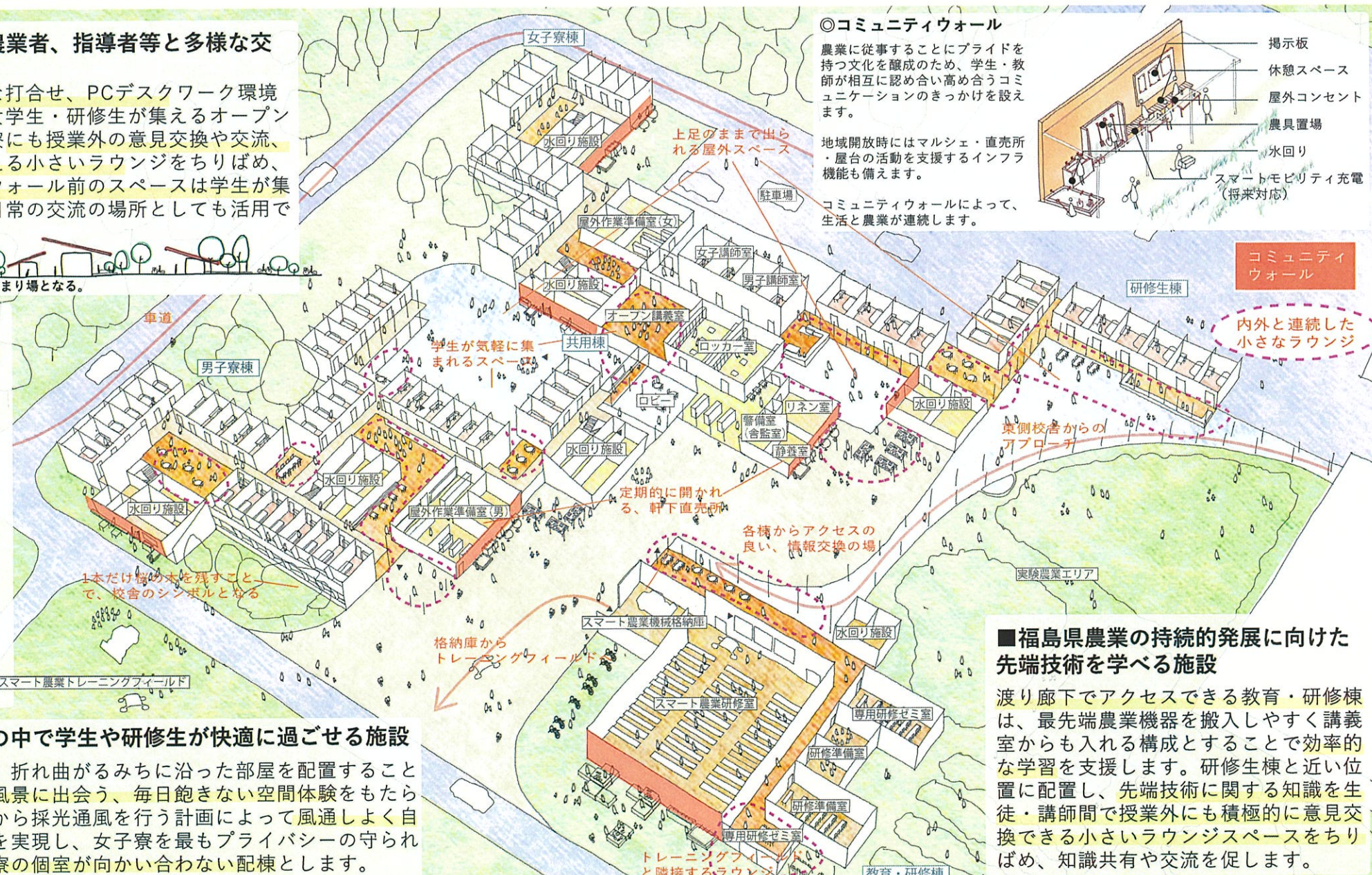
交流の場所を充実させる



プライバシーと開放性の両立

■良好な教育・研修環境の中で学生や研修生が快適に過ごせる施設

雁行する縁側空間のように、折れ曲がるみちに沿った部屋を配置することで、歩きながらいろいろな風景に出会う、毎日飽きない空間体験をもたらします。部屋や屋根の隙間から採光通風を行う計画によって風通しよく自然光あふれるラウンジ空間を実現し、女子寮を最もプライバシーの守られた北西に配置することで、寮の個室が向かい合わない配棟とします。

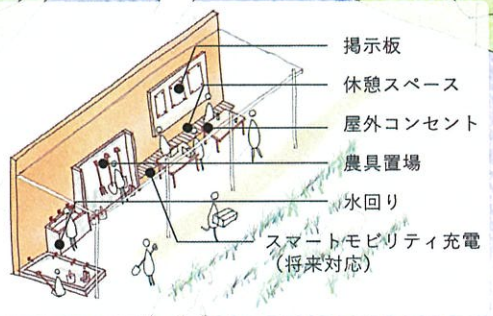


◎コミュニティウォール

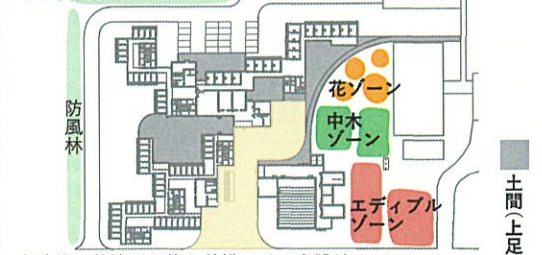
農業に従事することにプライドを持つ文化を醸成のため、学生・教師が相互に認め合い高め合うコミュニケーションのきっかけを設けます。

地域開放時にはマルシェ・直売所・屋台の活動を支援するインフラ機能も備えます。

コミュニティウォールによって、生活と農業が連続します。



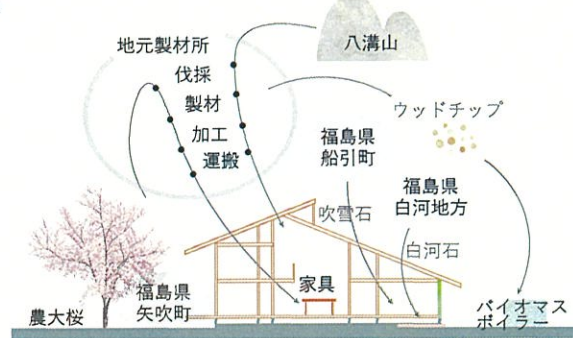
◎外構計画



実験的な栽培が可能な外構エリアを設ける。学生・教員とワークショップ等で話し合い内容を決めていく。

■県産材の積極的な活用

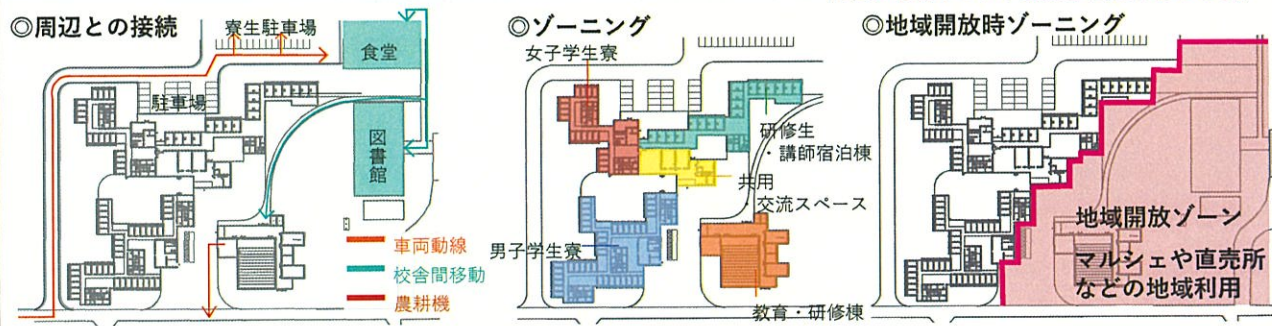
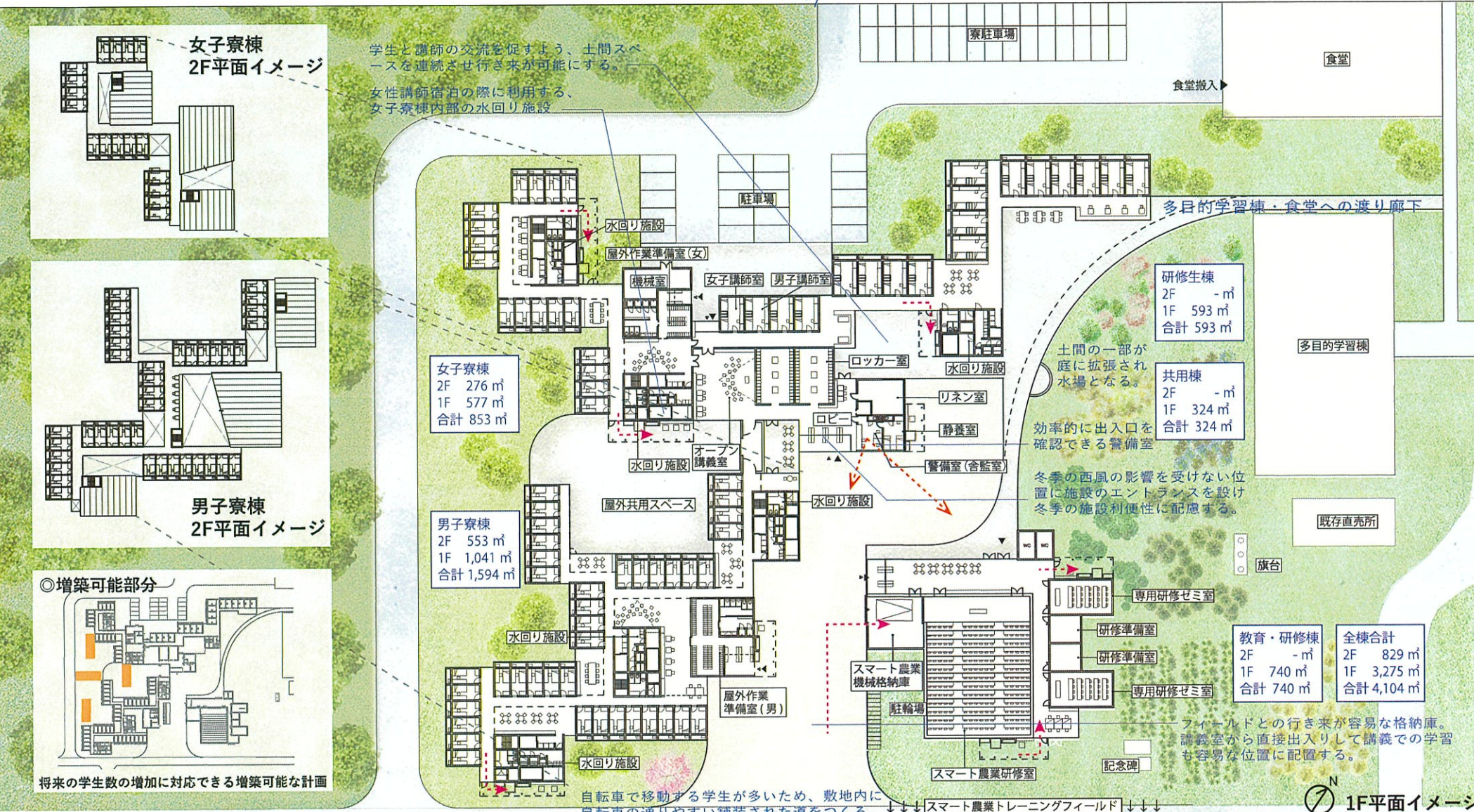
地元施工者を設計者として加えるチーム体制により、八溝山系の木材の伐採・製材・加工をワンストップで行える木材加工業者を設計段階で押さえ、ウッドショックの影響を受けない地場産流通材を前提とした構造設計を行います。中間卸業者を介さないコストカットと、2年後に納品可能な木材を押さえることで工期の担保が可能です。



■福島県農業の持続的発展に向けた先端技術を学べる施設

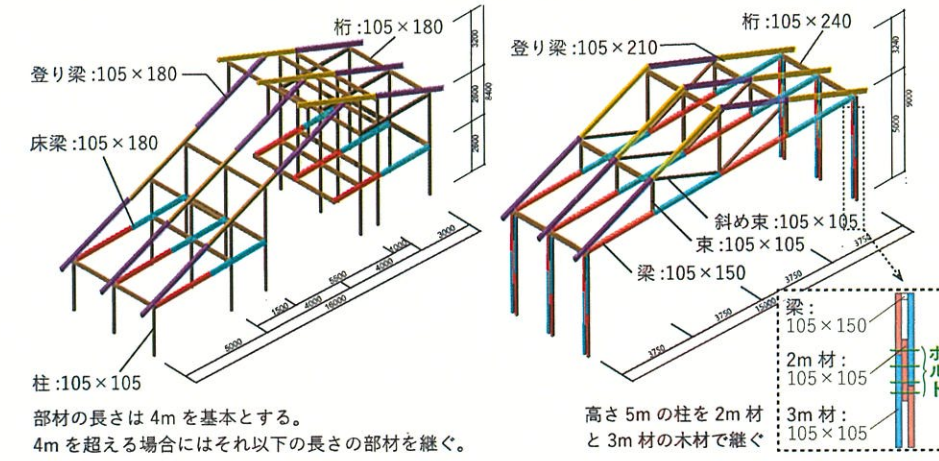
渡り廊下でアクセスできる教育・研修棟は、最先端農業機器を搬入しやすく講義室からも入れる構成とすることで効率的な学習を支援します。研修生棟と近い位置に配置し、先端技術に関する知識を生徒・講師間で授業外にも積極的に意見交換できる小さいラウンジスペースをちりばめ、知識共有や交流を促します。

| 材種 | 寸法 | 白河石や吹雪石といった地元の材料を積極的に取り入れます。切り倒した桜の木材を用いて、家具の制作も行い、コスト面と環境面に寄与します。 |
|----|--|--|
| 柱 | スギ 105 × 105 4m ヒノキ 105 × 105 4m | ▲地元製材所 |
| 梁 | スギ 105 × 150 4m マツ 105 × 210 4m | |
| 土台 | スギ 105 × 105 4m ヒノキ 105 × 105 4m | |
| 桁 | スギ 105 × 180 4m マツ 105 × 180 4m | |
| 束 | スギ 105 × 105 4m ヒノキ 105 × 105 4m etc. | |



■伝統と革新、地域に配慮した意匠と架構計画

長さが4m前後の地場流通材を用い、小断面木材による住宅スケールの木造工事で同様な特殊な技術を必要としない大工工事で架構が可能な計画とし、施工性に優れたローコストな架構を計画します。地元大工の技術を活かすシンプルな架構を組み合わせることで、施設全体として新しい風景となるシンボル性を獲得します。



◎木造現しを可能とする耐火要件整理

耐火構造の部分をはさんで接続することによって耐火上別棟とみなし、各棟で木造現しが可能。(国住指第2391号 平成20年9月30日)

- 男子学生寮
 - 1615㎡ < 3000㎡ → 木造可能
 - 2階居室200㎡以上 → 準耐火建築物(口準耐1) → 木造現し可能
 - 500㎡以下に防火区画
- 女子学生寮
 - 1817㎡ < 3000㎡ → 木造可能
 - 2階居室200㎡以下 → 耐火制限なし → 木造現し可能
- 教育・研修棟
 - 701㎡ < 3000㎡ → 木造可能
 - 耐火制限なし → 木造現し可能

■耐火構造の部分
■準耐火建築物(口準耐1)
■耐火制限なし
■防火区画

■エネルギー性能が高く持続可能性に優れた施設

